

他にもまだまだあるよ！

子ども読書のまち いちのみや

- ^{ねこ し むしよ}
猫の事務所
Eネコ 宮沢 賢治/作, 黒井 健/絵 (偕成社)
- **ツエねずみ**
Eツエ 宮沢 賢治/作, 石井 聖岳/絵 (三起商行)
- ^{ほし}
よだかの星
Eヨタ 宮沢 賢治/作, ささめや ゆき/絵 (三起商行)
- **黄いろのトマト**
Eキイ 宮沢 賢治/作, 降矢 なな/絵 (三起商行)
- ^{ゆき}
雪わたり
Eユキ 宮沢 賢治/原作, 方緒 良/絵 (三起商行)
- **さるのこしかけ**
Eサル 宮沢 賢治/作, さいとう よしみ/絵 (小学館)
- ^{ひょうがねずみ けがわ}
氷河鼠の毛皮
Eヒヨ 宮沢 賢治/作, 堀川 理万子/絵 (三起商行)
- **雨ニモマケズ**
Eアメ 宮沢 賢治/作, 小林 敏也/画 (パロル舎)
- **とっこべとら子**
Eトツ 宮沢 賢治/作, 高橋 伸樹/絵 (農山漁村文化協会)
- **ふたごの星**
Eフタ 宮沢 賢治/文, 松永 禎郎/絵 (新日本出版社)



宮沢 賢治 の 絵本

^{みやざわ けんじ}
宮沢 賢治(1896年～1933年)

岩手県生まれの詩人、童話作家。

生前は、ほとんど世に知られていませんでしたが
37歳で亡くなった後に、書き残した多数の詩と童話などが
^{しゅっぱん}出版されました。



一宮市立中央図書館



2014.10

宮沢賢治おすすめえほん



Eイチ

いちようの実
気持ちのよい新しい朝。今日、いちようの実たちはいっせいに旅立ちます。男の子はワクワク楽しそうで、女の子は不安で「行きたくない」と言っています。さあ、朝日がのぼりはじめました。いよいよ出発です。

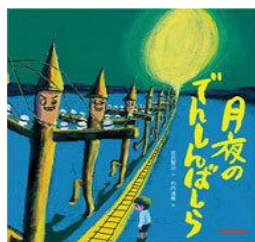
宮沢 賢治/作, 及川 賢治/絵 (三起商行)



Eセロ

セロ弾きのゴーシュ
セロ弾きのゴーシュは、へたでいつもおこられてばかりいました。ある夜、家で練習をしているとトマトを持った三毛ねこが入ってきて「セロを弾いてごらんなさい」と言います。その夜から次々と動物がやってきます。

藤城 清治/影絵, 宮沢 賢治/原作 (講談社)



Eツキ

月夜のでんしんばしら
ある夜、鉄道線路を歩いていた恭一は、とてもへんてこなものをみました。「ドッテドッテ、ドッテド」ででんしん柱の列が、おいばりていっぺんに歩き出しました。

宮沢 賢治/作, 竹内 通雅/絵 (三起商行)



Eトン

どんぐりと山猫
ある日の夕方、一郎の家に山猫からおかしなハガキがとどきました。次の朝、山猫のところへ行ってみるとそこでは、だれが一番えらいのかをめぐって、どんぐりたちがあらそっていました。

宮沢 賢治/作, 田島 征三/絵 (三起商行)



Eカエ

蛙のゴム靴
なかよく「雲見」をしていた3ひきのカエルたちが、「人間界ではやっているというゴム靴がほしいね」と話しています。ところが、このゴム靴をめぐってけんかをしたりいろいろなことが起こります。

宮沢 賢治/作, 松成 真理子/絵 (三起商行)



Eカホ

風之又三郎
谷川の岸に小さな学校があります。2学期の始まる朝、教室には赤いかみをした見知らぬ少年がすわっていました。みんなでうわさしていると、大きな風がふいたので、その転校生は「風の又三郎」とよばれるようになりました。

藤城 清治/影絵, 宮沢 賢治/原作 (講談社)



Eチユ

注文の多い料理店
道にまよった二人のしんしが山の中でたどり着いたのは1けんの料理店「山猫軒」。おなかをすかせていた男たちは、どんな料理が出てくるのか楽しみにしながらとびら見ています。いったい、とびらの向こうには何があるのでしょうか。

宮沢 賢治/作, 池田 浩彰/絵 (講談社)



Eキン

銀河鉄道の夜
銀河のお祭りの夜、ジョバンニが丘の上で野原を見わたしていると「銀河ステーション、銀河…」とふしぎな声が聞こえました。気が付くと親友のカムパネルラといっしょに小さな列車に乗っていたのでした。

宮沢 賢治/作, 小林 敏也/画 (パロル舎)